

田園都市線渋谷駅から中央林間駅間の急行停車 11 駅の比較

2021. 5. 22 小久保の現地見学より

	急行駅名	バスターミナル	青空・緑・広場	タワーマンション	商業ビル
1	渋谷 駅	除外			
2	三軒茶屋	無し	駅前広場	なし	キャロット 26 階
3	二子玉川	屋外、2ヶ所	連続した広場	なし	高島屋 11 階
4	溝の口	屋外、2ヶ所	広いデッキ	なし	ノクテイ 12 階
5	鷺 沼	ビルの 1 階、	3 階デッキ	タワマン 37 階	地下 1 階～3 階
6	たまプラズ	屋外とビル 1 階	駅前と中庭	なし	高層なし
7	あざみの	屋外		なし	高層なし
8	青葉台	屋外、1ヶ所		なし	高層なし
9	長津田	屋外、1ヶ所		タワマン 28 階	高層なし
10	南町田	屋外	連続した広場	なし	高層なし
11	中央林間	コミニテイバス		ライオンズ 14 階	高層なし

南町田は南町田グランベリーパークの略

10 駅の比較で見えてきた鷺沼駅前再開発の特徴

- (1) バスターミナルは全駅とも青空の見える屋外に設置されている。広くて緑も多く、解放感があり、広場も兼ね備えたイメージである。

青空の見えないビル排気ガス充満の 1 階にバスターミナルがあるのは鷺沼駅だけである。
- (2) 駅に隣接して超高層のタワーマンションがあるのは、長津田と鷺沼だけである。

長津田には 28 階があるが、駅から離れている。鷺沼は駅正面に 37 階超高層タワマンが聳え立つ、まさにベットタウンの街づくりと言える。

他の駅は商業ビルであり高さも三軒茶屋のキャロット 26 階、溝ノ口ノクテイ 53m 12 階、二子玉川高島屋 11 階である。
- (3) 駅前広場のある駅や駅前玄関を広くとっている駅等があるが、屋外で青空と豊富な緑があり、広くて解放的なバスターミナルが広場を兼ねている駅も多い。

鷺沼再開発は、憩いの広場がなく、バスターミナルは青空が見えない閉鎖的な空間であり、広場とは言えない。3 階にデッキ広場を作ると言うが、ビルの谷間で風害も強い場所、都市計画においては、鷺沼再開発地区には憩いの広場の計画は存在しない。
- (4) 鷺沼駅前再開発では、緑被面積を基準の 15% を確保しているというが、ほとんどが屋上や壁面の緑被面積で、敷地面積の 2.3% しかない。桜並木や銀杏並木が 32 本伐採され、地上の緑は 3 分の 1 に減少する。

宮前区鷺沼駅前には緑化重点推進地区で「花と緑の駅前・桜並木を保存する」と明記された計画があるが、それとは真逆な開発となっている。

100 億円投入しても、超高層タワマン計画優先の開発であり、住民にとって快適な駅前どころか、ゆとりがない環境被害をもたらす開発である。コロナ危機下の見直しを求めたい。